

こちらの園情報は 2022年4月1日 現在時点の情報です。園に問い合わせせて園見学を行い、最新の情報をご確認ください。

狩留家保育園

【1. 基本情報】

施設類型	公立保育園	設置運営	広島市	
所在地	広島市安佐北区狩留家町2858	園へのアクセス	JR芸備線 『狩留家駅』 徒歩10分	
園庭の有無	有	活動で利用する 主な公園等	狩留家駅前公園 徒歩 10分・狩留家集会所 徒歩 10分・東八幡神社 徒歩 10分	
HP	－			
TEL	844-0138	FAX	844-0142	

【2. 園の特色（園が大切にしていること）】

・子ども達、一人一人の幸せを考えて保育します。 ・保護者の子育てを支え、子どもの健やかな育ちを共に考えていきます。 ・地域の子育て家庭を応援し、地域に根差した保育園を目指します。

【3. 保育の目標（育てたい子ども像）】

・元気いっぱい、しっかり考え、生き生きと遊べる子ども

【4. 定員数】

0歳児	1～2歳児	3～5歳児	合計
0名	6名	30名	36名
受入可能月齢	1歳児から5歳児まで		
異年齢保育	あり：基本3歳から開始。生活場面では、乳児との交流もあり。		

【5. 施設情報】

開園時間	開園時間		保育標準時間 （最大11時間）		保育短時間 （最大8時間）	
	7:30～18:30		7:30～18:30		8:30～16:30	
送迎スペース	駐車場	○	駐輪場	○	備 考	園の敷地内駐車場3台、近隣バス停前駐車場12台
保育士以外の職員構成	調理員	事務員	備 考			
	○	○	－			

【6. 延長保育】

延長保育	定員	－
	受入可能月齢	－
	保育時間	－
	おやつを提供	－
延長保育に関する補足事項		延長して保育を希望する場合は、別途申請、保育料が必要となりますので、保育園または福祉事務所（区福祉課）にお問い合わせください。

【7. 主な行事】保護者参加行事は※印

春（4-6月）	夏（7-9月）	秋（10-12月）	冬（1-3月）
入園進級式※、懇談会※	七夕会	運動会	まめまき
遠足（3、4、5才）	防災訓練	芋ほり	ひなまつり
お泊り保育	秋の遠足（3、4、5才）	保育参観※	卒園式※
		お芋パーティー	
行事に関する補足事項	毎月実施（避難訓練、身体計測）		

【8. 持ち物について】

午睡用布団	保護者用意	家庭から持ち込む寝具類	掛布団（夏以外） 敷布団 タオルケット（夏）
寝具類の持ち帰り頻度	隔週金曜日又は土曜日 ※夏季は毎週		
おむつの用意	おむつ持ち込み（紙・布両方）	おむつ処理	園で廃棄（廃棄費用徴収無）
箸・フォーク・スプーン	園で全て用意	水筒	不要
入園までに用意するもの ※園指定によるものは下線部あり	カラー帽子、名札、シール帳、シール、雑費袋、おたよりホルダー、クレパス		
上記のうち指定物品の費用 （概算）	約2,500円		
持ち物に関する補足事項	－		

【9. 給食・アレルギー等対応】※ 3歳未満児までは、園で主食の用意を行います。3歳児以上の副食費の詳細については、下記のURLにてご確認ください。

給食	自園調理	☐	委託	－
主食の用意 ※ 3歳以上児のみ	保護者持参	☐	園用意	－

原則給食で提供を避けているアレルギー品目	アレルギー疾患生活管理指導表に基づき特定原材料7品目及び特定原材料に準ずるもの2品目
完全除去可能なアレルギー品目	上記と同じ
給食・アレルギー等に関する補足事項	厚生労働省から発出される日本人の食事摂取基準に基づき、給食栄養管理を行っています。 https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/82/5148.html

【10. 懇談会・保護者会】

懇談会	有	開催頻度	半年に1回
保護者会	有	開催頻度	年に4回(総会2回、運動会、発表会)

【11. 園への連絡方法】

連絡方法	電話	FAX	アプリ等
	☐	☐	－

【12. 一時保育・子育て支援】※ 詳細は園にお問い合わせください

一時保育	－	定員	－	おむつの用意	－
		受入年齢	－	おむつの処理	－
		実施曜日	－	アレルギー対応	－
		予約受付	－	障害児受入	－
園庭開放	☐	https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/hoiku-youchien-kosodateshien/list2620-5857.html 詳しくは園にお問い合わせください。			
子育て支援	☐	・わかばパパ・わかばママ応援教室 ・育児相談等 詳しくは園にお問い合わせください。			
一時保育・子育て支援に関する補足事項		－			

【13. その他、園からのお知らせなど】

・地域の方との温かいつながりがある園です。コロナ禍で今は交流が難しくなっていますが、例年のご厚意で筍を掘らせてもらったり、年長児は田んぼをお借りしての田植え・稲刈りの体験や、脱穀の様子を見学するなど米作りの体験をします。また、お借りした畑でサツマイモを育て、収穫し、収穫祭で地域の方と焼き芋を食べたり、年末にはしめ縄づくりを地域の方と一緒に楽しめます。

・散歩では四季折々の草花や畑の作物を見たり触れたり、自然を身近に感じられる園です。